From 5 5つのセクションから

【NPO法人ぱれっと http://www.npo-palette.or.jp】

おかし屋ぱれっと

http://www.okashiya-palette.or.jp/

~ふるさと渋谷 フェスティバル~

毎年恒例の渋谷区のお祭り"ふるさと渋谷フェスティバル"が今年も11月5、6日の2日間、代々木公園にて開催されました。ぱれっとも毎年参加をしています。ブースには各団体の商品や、バザー品がたくさん並びます。お散歩しに来た人でもブースを覗いたりしているうちに、買いたくなるような熱気と活気に溢れています。ぱれっとブースも周りに負けないように声を出して、一人でも多くの方に商品を買って頂けるよう販売促進をしました。1日目は天気の崩れは無く過ごしやすい一日で、二日目は雨が降ったり止んだりのすっきりしないお天気でしたが、たくさんのお客様におかし屋商品とバザー品をご購入頂きました。おかし屋は二日あわせて十二万円の売り上げになりました。自分自身もぱれっとのバザー品を掘り出して何着か購入しながら楽しんで販売を行な

お祭りです。ふるさとフェスティバルのように、毎年 恒例の行事が近づくと、去年の事を思い出して、もう 一年前の事かとしみじみ感じたりもします。これから もたくさんの方におかし屋ぱれっとを知ってもらい喜 んでもらえる商品をお届け致します。 (みうら)

いました。お客さんとしても一日楽しめそうな



【発声練習中!!?】

たまり場ばれっと

http://www.npo-palette.or.ip/tamariba/

ベボランティア勉強会 速報!~

12月11日(日)、たまり場で中心となって活動しているボランティア15名が集まり、勉強会を行ないました。この勉強会の一番の目的は、「ぱれっとを知る」ということでした。ぱれっとは設立して約30年が経ちますが、一番最初に出来たセクションがたまり場であり、ぱれっとの原点でもあります。30年前どんな思いでぱれっとを立ち上げ、どんな経緯でここまで作ってきたのか。それを振り返り、「これから」という未来に繋げていく役割が私達にはあります。当日は、どの参加者からも活発な意見がたくさん出て、皆さんのを大変頼もしく感じました。また、終了時には「次回も行なおう!」という話も出るほどの盛り上がりをみせました。当日の詳しい内容は次号にて報告いたします! (そうき)

スリランカ料理&BEER Palette http://www.r-palette.com/

~ 学生の授業で ~

少し前の話になりますが、私の母校、明治学院大学の新保先生が授業の一環でレストランに学生さんたちを連れてきてくださいました。30分ほど私から、ぱれっとのお話をしてそのあとは食事会となりました。途中でシェフのロハンを呼び、「ロハンは何歳に見えるか」というクイズを出しましたが、3人の子持ちであるロハンに「20代に見える」と手を挙げた人が3人もいました。後日、訪問のお礼にということで皆さんで「五七五」を作って送ってくださいましたので、少し紹介します。

「隠し味 社員のやる気が香辛料」「働くよ いろんな色の仲間たち」「ぱれっとは みんなで働く当たり前」。ご来店ありがとうございました。 (みなみやま)

 えびす • ぱれっとホ─ム ~法人ホームページ内にて公開中~

~『もう一人の仲間』~

先日、ホームの玄関先の植木鉢のかげに、珍しいお客様がいました。青黒いからだの「カエル」でした。冬眠のためか、はたまた寒くて動けないのか、のろのろと這い出して来ました。梅雨の頃にも何回か来ていたことがある(同じカエルかどうか?)と聞きましたのでこのカエルも「地元」のカエルなのでしょう。猫やカラスといった天敵の多い都会で子孫をつなげていくのは、大変なことだと思います。とにかく、生命の力強さと不思議さを感じないわけにはいきません。せっかくぱれっとホームに来てくれた「カエルさん」ですから、なんとか無事に冬を越し、来春も「ホームの仲間」として元気な姿を見せてくれたらうれしいな、と思います。

ぱれっとインターナショナル・ジャパン ~ 法人ホームページ内にて公開中~

~アジア知的障害会議 報告会~

11月27日に、韓国の済州島でこの夏に開かれた「アジア知的障害会議」の報告会が、日本発達障害福祉連盟主催で実施されました。ぱれっとでは、協力団体として20名ほどのボランティアが会場でお世話をしました。現地で撮ったビデオを見ながら、障害者本人による韓国での発表や交流会は、会議に参加できなかった者にとっては現地での参加者の活躍がとても興味深く、フロアとの質疑応答も活発に行なわれて充実した会となりました。会が終わった後も、まるでアジア会議の同窓会のように話が尽きませんでした。次回のアジア会議は、2013年9月にインドのニューデリーで開催されます。このように、アジアの仲間たちとの交流が著学に広がっていくのが楽しみです。 (たにぐち)